

業務部速報



No. 6

発行 21. 7. 6

JR東労組 業務部

「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を受ける！

本日、新幹線統括本部より「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を受けました。提案内容は、下記のとおりです。

1. 目的

配置車両の変更や派出検査業務の重要性を捉えつつ、高品質な車両の提供、効率的な業務運営と社員の成長を目的に、以下のとおり検査体制を変更します。

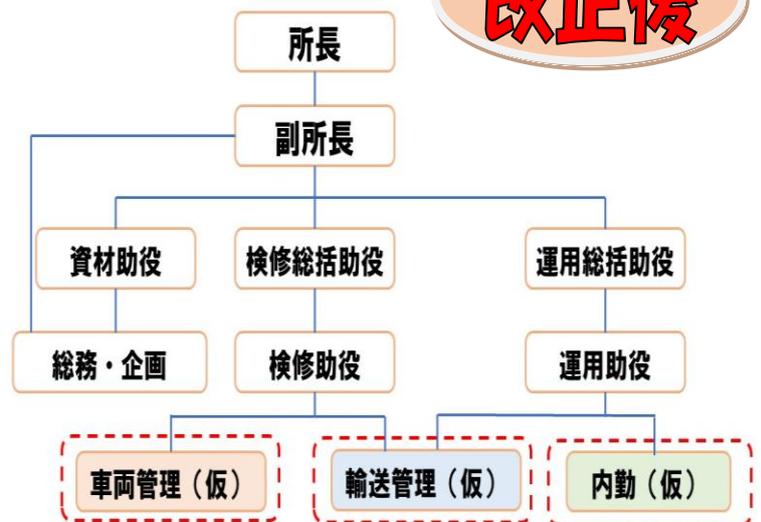
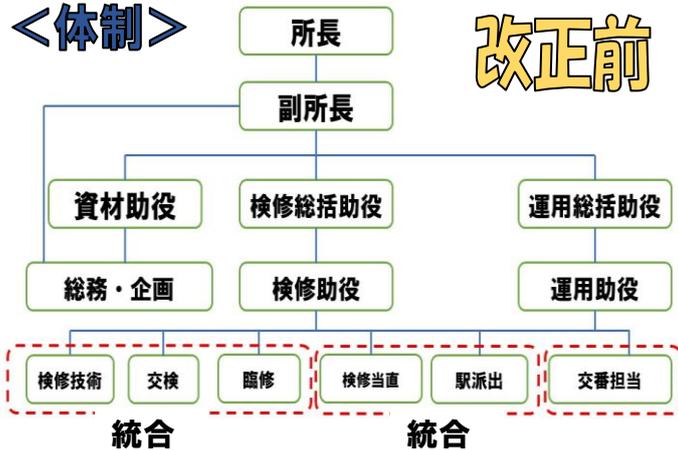
2. 変更内容

- ・J編成の1日交検を実施します。
 - ・「検修技術」「交検」「臨修」の各グループを「車両管理」グループに統合します。
 - ・「検修当直」「派出」の各グループを「輸送管理」グループに統合します。
 - ・「交番担当」の名称を「内勤」に変更します。
- ※グループの名称は仮称となります。

3. 実施日 2021年 10月 2日



<体制>



変更後の標準数		関係職
		車両
新潟新幹線車両センター	標準数	58
	増減	△12

議論の特徴点

●検修技術、交検、臨修の統合について●

- ・E4系が廃車になることで交検の本数が減るので新潟新幹線車両センターの将来像を検討し、この班の統合にした。
- ・班を統合するのは柔軟な体制をつくるため。交検の本数が減ることもあり、交検や臨修を柔軟に対応ができるようになる。社員の成長の機会を増やしていきたい。

●検修当直と駅派出の統合について●

- ・定期検査に限らず応急処置の向上が求められる。当直班が駅検査を経験することで技術向上が図られる。

●交番担当の名称変更について●

- ・名称を変更して新しい形を伝えたいという思いから変更した。

●標準数が△12名になることの対応について●

- ・会社は必要な箇所に要員を配置していく。社員の事情や考え方がるので話を聞きどうしたらいいか進めていく。
- ・管理者など目指す方は積極的に言って新しい視野を広げてほしい。
- ・今回の体制の見直しは車両職だけで管理、総務、企画はない。

組合員の不安を解消し、安全・健康・ゆとり・働きがいを持てる職場をつくろう！